

内転型痙攣性発声障害の患者さんへ

当院では内転型痙攣性発声障害の方を対象とした医療機器の治験*を実施しています。

● 治験の目的 ●

声帯がきつく閉じてしまう症状を特徴とするこの疾患に対して、手術でチタンブリッジを埋め込むことにより声が出しやすくなる効果を調べることを目的としています。

参加期間は約1年間です。

● この治験に参加いただける方 ●

1. 耳鼻咽喉科の専門医によって内転型痙攣性発声障害と診断された方
2. 自覚的、他覚的に声の途切れや出しにくさを1年以上おもちの方
3. 声の出しやすさの検査で一定の基準を満たす方
4. 音声治療を行っても改善がなかった方

※治験に参加するには他にも条件があるため、お断りすることもあります



詳しくお知りになりたい方は下記までご連絡ください

熊本大学医学部附属病院
耳鼻咽喉科・頭頸部外科
治験調整事務局

TEL 096-373-5180
(月～金曜：9:00～17:00)

*新しい医療機器を開発するには患者様のご同意のもと、プライバシー保護と安全性に十分配慮しながら、医療機器の効果やその機器による副作用などが慎重に調べられます。このような試験を「治験」といいます。